

9月16日 No.1457

-----2019年(令和元年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税

(定価) 1部本体 495円+税

週刊

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

第1457号

(第3種郵便物承認)

週刊 循環 経 済

合同ニカテク

中性固化材で食品残さを改質

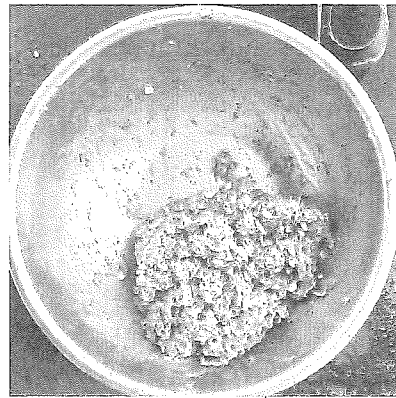
食業者が採用、安全管理や円滑処理

「土と水」に特化する化学薬品メーカーのテクニカ合同(神戸市、寺尾好太社長、☎078・4336・0288)は、今春開発した一剤型の中性固化剤「プラムロック」シリーズ(特許取得済み)について、食品リサイクル業者への納入が決まった。主な導入先として想定していた建設汚泥の改質処理とは異なる、新たなニーズを掘り起こした。食品残さに自立性を持たせ、工場ですぐに容易に管理できる他、処分場への荷運びが容易となり、受入基準を満たす性状に改質できる。

食品残さを中間処理後に最終処分する際、荷崩れしやすい軟らかい性状のため埋立場で受け入れを拒まれるケースがあるという。プラムロックを導入する以前は、比較的安価で調達できるおがくずや食品残さと混合させ、自立性と離水性を改善していた。しかし、添加量が増加することによる処分費の増大や、改質不良による離水の発生等、施設での管理が困難となる場合があった。

同固化剤で固める場合は、食品残さ1ト当たり約10〜20キログラムの添加量で済む。無機系材料3種と有機材を原料とした。同社の担当者は、「食品残さが崩れることに

よる積み直しやその危機管理、処分場で受け取り拒否され再度の改質が必要となるといった懸念をなくすことができる」と好評をいただいている。今後、土木工事ですぐに採用していただけるようNETIS登録を進めるとともに、引き続き新規用途の開発を進め、全国の事業者向けにあらゆる用途で提案していきたい」と話した。



プラムロックで改質した食品残さ

料3種と有機材を原料とし